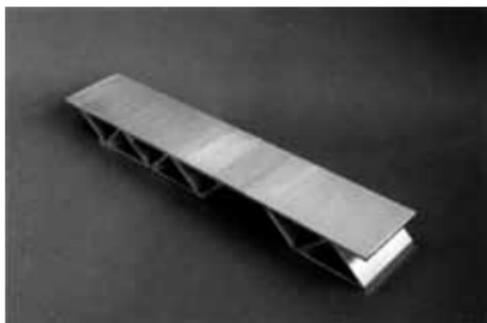


アルミ床版 (株) 住軽日軽エンジニアリング

昨今の道路・橋梁等維持保全の道路環境ニーズに対応したアルミ床版歩道拡幅は、既設車道橋にアルミ床版を添架し歩道幅員を確保する事で歩行者の交通安全対策である安全・安心の創出に最適です。アルミ床版歩道拡幅は、平成15年度国土交通省姫路河川国道事務所の新加古川副道に（兵庫県・橋長420m）日本で初めてのアルミ床版が橋梁に採用されて高い評価を得て以来、全国に数多くの実績があります。

特長

- アルミ床版歩道拡幅の特徴は、主部材がアルミ合金製（6000系）の大型形材をFSW（摩擦攪拌接合）によってユニット化することでアルミ床版の軽量化・高耐久性を実現しました。また、ユニット化されたアルミ床版を設置するプレハブ構造のため、小型重機による架設が可能で道路占有面積を抑えられ既存橋梁から施工ができるので工期短縮も計れます。
- アルミ床版は、高耐食性のため海浜地区などの厳しい条件下でも塗装の必要もなく優れた機能と美観を有し維持管理の省力化・メンテナンスフリー・ライフサイクルコストの低減などが評価されて採用されています。
- 昨今、大型地震が予測される中でも、軽量のアルミ床版は地震時の慣性力の低減による耐震性の向上も期待されます。



アルミ床版カットモデル

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ所有者の商標または登録商標です。